

# デュアルトリマー W 108 取り扱いについて



安永コンピュータシステム株式会社

 **YASUNAGA™**  
**Laboratory**  
YASUNAGA Computer Systems Co., Inc. Japan

Innovate to the Feature

## デュアルトリマー W108 取り扱い注意について

1. 使用する際の水量はなるべく多く流すようにしてください。前面から水しぶきがかかるくらいに水を流すように正面左側の弁を調節してください。水量が少ないと石膏がトリマー内部にたまってディスクが回りづらくなってモーターまで傷めてしまうことがあります。
2. 使用後は必ず十分な水で石膏を洗い流してください。
3. なるべく前のカバーを外して綺麗に掃除してください。  
また時々、ディスクとその下のプラスチックのディスクを外して、綺麗に掃除してください。
4. 使用後、時々キッチンハイター（塩素系殺菌剤）または次亜塩素剤などを前蓋を開けて全体にかけて殺菌してください。石膏モデルに付着した口腔内の細菌によってアルミのケースなどが腐食してしまいます。
5. 細めのディスクの後ろの軸の上部に丸い穴が空いています。こちらの穴にはエンジンオイル等のオイルを差してください。ゴロゴロと言う前に1年に1度は数滴さしてください。
6. もしゴロゴロと言う音がしたら、細目ディスクのシャフト（回転軸）の交換が必要になります。部品代以外に交換する為の修理費用も必要となります。

こまめに機械のメンテナンスをしていただくと長く使用する事ができます。

## 掃除の方法について

1. 各まわりのネジを緩めて前面のパネルをはずします。付属のインチサイズの六画レンチを使って取り外します。この状態で水をかけて石膏等を流してください。



2. もしディスクの後ろ側も石膏が付着している場合は、ディスクを外して掃除します。

細めのディスクを外すには付属の専用工具を木槌などで反時計回りに回転させて外します。



内部のプラスチックのプレートもプラスのねじ回しで外します。

必ずネジ山の合ったねじ回しをお使いください。



引き続き荒めのディスクもはずします。



プラスチックのプレートも外します。

綺麗に掃除します。



## ベルト交換について

力を加えた時に、右側の細めのディスクが回らなくなってきたりしたら、ベルトの交換が必要かもしれません。その場合、右図のアルミのパネルを外さないとベルトの交換ができません。

普段から石膏等がネジに付着しないように綺麗にしてください。このネジは一応シリコンでカバーされています。



左側のアルミカバーはそのまま外れますが、右側のカバーはゴムの輪でとめられています。

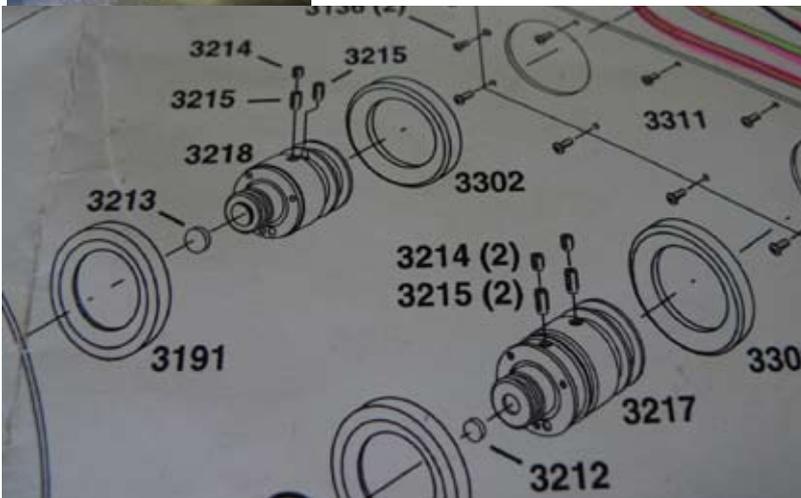
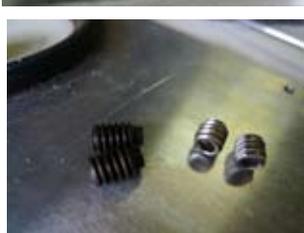
アルミの丸いカバーを外す為に右側のゴムの押さえを千枚綴じのような工具で外します。

アルミ版のネジ10個とプリーの近くのネジ2個の計12個を外してアルミ版を外します。ネジ山は石膏で埋まっていたり、シリコンで塞がれていたりしますから、千枚綴じのような先の尖った道具でネジ山を綺麗にしてからネジを押さえながら回します。アルミ板は、出荷時、シリコンで止められているのでマイナスドライバー等でアルミ板を外します。

プリーは六画ネジで止められています。右側は2つのネジは2段に重ねて止められていますからそれぞれ外します。

左側のプリーの六画ネジは1つのネジは2段重ねですが、ベルトの入るところのネジは1個です。

外す前にプリーの高さ（位置）を記録して行ってください。後で位置がずれますと2つのホイールがうまく回転できなくなってしまいます。



これで2つのプーリーは外れずの  
ですが、硬いので頑丈なドライバー  
(釘抜きのような丈夫な工具)で引き  
上げながら外します。

両方のプーリーを外してください。  
ベルトを新しい物と交換して戻しま  
す。

プーリーの位置を必ず覚えておい  
て同じ高さに戻します。



カバーはシリコンで覆っておくと次  
回の交換作業が楽になります。

### 細めディスクの軸の交換

右側の軸を交換するには、カバーを止  
めている4本のネジを外します。

白いテフロンと軸棒を外して新品と交  
換します。



先ほどの逆の手順で組み上げて下さ  
い。

